

各関係機関団体の長
各病虫害防除員

} 殿

福岡県農林業総合試験場長
(福岡県病虫害防除所)

令和3年度病虫害発生予察注意報第1号について

このことについて、病虫害発生予察注意報第1号を発表したので送付します。

10月5半旬調査では、キャベツ、レタス、イチゴ、ナスでチョウ目害虫の寄生及び食害、卵が多く認められました。特に、キャベツのオオタバコガ、ハスモンヨトウ、コナガの寄生株率及び発生ほ場率は、過去10年で最も高くなっています。

今後も発生に好適な気象条件が続くと予想されますので、防除を徹底してください。

注意報第1号

1 対象作物名：野菜類

2 病虫害名：チョウ目（オオタバコガ、ハスモンヨトウ、コナガ）

3 発生量（現況）：多

4 注意報の根拠

- (1) キャベツの10月5半旬調査の結果では、オオタバコガの寄生株率は9.7%（平成1.7%）、発生ほ場率100%（平成37.8%）、ハスモンヨトウの寄生株率は2.0%（平成0.4%）、発生ほ場率57.1%（平成14.5%）、コナガの寄生株率6.0%（平成0.4%）、発生ほ場率71.4%（平成12.2%）で、いずれも寄生株率、発生ほ場率とも過去10年で最も高かった。
- (2) レタスの10月5半旬調査の結果では、オオタバコガの寄生株率は2.0%（平成0.8%）、発生ほ場率14.3%（平成21.8%）、ハスモンヨトウの寄生株率は0.6%（平成0.4%）、発生ほ場率14.3%（平成12.4%）で、いずれも寄生株率が平成より高かった。
- (3) 他作物の巡回調査においても、イチゴではハスモンヨトウ・オオタバコガ、ナスではハスモンヨトウの発生が認められた。
- (4) 10月21日福岡管区気象台発表の1か月予報によれば、降水量と日照時間はほぼ平成並、気温は平成並か高いと予想されており、発生に好適な条件である。

5 防除上注意すべき事項

- (1) ほ場をよく観察し、発生が認められた場合には直ちに防除を行う。
- (2) ハスモンヨトウの若齢幼虫は葉裏に群棲し、分散後に新芽に寄生することが多いので、見つけ次第、除去・処分する。
- (3) 結球する野菜では、結球内部に食入し被害が大きくなるため、結球前の防除を徹底する。
- (4) 中老齢幼虫になると薬剤の防除効果が低下するので、若齢幼虫のうちに防除を徹底する。
- (5) ほ場内や周辺の雑草は増殖の場となるので、除草を徹底する。



キャベツを加害するオオタバコガの幼虫



ハスモンヨトウの卵塊と若齢幼虫(レタス)



キャベツを加害するハスモンヨトウの老齢幼虫



コナガの蛹(キャベツ)

病害虫防除所のホームページでは、各種病害虫の発生状況を随時更新しています。
発生状況の把握や防除の参考にご活用下さい。

○福岡県病害虫防除所のホームページへのアクセス

URL: <https://www.jppn.ne.jp/fukuoka/> または右QRコード①

○Twitter (ツイッター) で定期情報や警報等発出のお知らせを始めました。

Twitterの本アカウント (福岡県農作物病害虫情報) へのアクセス

URL: https://twitter.com/PPDPO_Fukuoka または右QRコード②



最新の病害虫発生状況

